講演会に参加して

「女性の視点からの災害対策」講演 (参議院議員会館) 講師:清原桂子

阪神淡路大震災から

1. 家族と地域の関わり

家族を開く、いわゆる自分たちだけ、良ければと言う心を捨てることにより家族の絆を結ぶことが大切。

- ① 多世代混住による、経験、知恵を出し合うことにより、生きる元気がつくられ、早い復興に繋がる。
- ② 官だけでは、できない。民と官がともに公を担うこと。復興のエネルギー源づくりは、どれだけ官が民と連携をとり、共に協働の推進を進めて行けるかがカギである。
- ③ **普段からやっていないことは、危機の時もできない。**平常時からの、助け合い、支え合いの 仕組みづくりが、そのまま防災、減災の街づくりになる。

2. 生活復興への女性たちの力

女性たちの視点の強み

- ① 日々の暮らしの現場を担う、生活者であること。
- ② 肩書に捕らわれない、横の人間関係づくりが上手である。
- ③ 議論の堂々巡りより、まず行動することが出来る。

平成7年、阪神、淡路大震災、また本年の東日本大震災の経験を受け、安心、安全な防災計画、 支え合う地域づくりの推進が急がれます。

今までの男性の視点に加え、特に復興に向けた取り組みの中で意思決定の時に女性の視点からの 声が求められます。長野県にあっても現状を把握し生活現場から出る女性の声が反映されるような 取り組みに力を尽くして参ります。

あした

「輝く未来を創る女性の会」の発足

10月28日(金)「輝く未来を創る女性の会」が発足しました。

代表に清水じゅんこ、副代表を佐藤栄子さんにお願いしました。

この会は、「すべての人が幸福感を感じ、個性を発揮して輝いていける社会をつくることをめざし、そのために必要な地域の様々な課題をみつけ、学び、私たちが出来ることを考えていく、特に女性の視点からの発想を大切に、地域社会における支え合い、クリエーター(創造者)として未来のために様々な提案を社会に発信して行動していく」ことを目的に発足しました。

初回は「発達障がいについて学ぼう」をテーマに開催し、70名ほどの参加を頂きました。 理解しにくいテーマでありながら、わかりやすく体験を踏まえた講演に、参加された皆さん から大変評価を頂きました。

これからもみなさんのお声を聞きながら、地域の様々な課題をみつけ、講演会の積極的な開催をめざして参りますので、たくさんのご意見・ご要望をお寄せください。

清水じゅんこ** 長野県議会だより

2011年11月 秋号 (第2号)

県民クラブ・公明 発行責任者 小松千万蔵

長野県庁

長野市大字南長野字幅下 692-2 ☎026-232-0111 (県庁代表)

ごあいさつ

皆様の熱いご支援をいただき7カ月が 過ぎました。

日頃より暖かいご支援ご指導を賜り 厚く御礼を申し上げます。

今までごく普通の生活者として、主婦として、お会いすることのできない多くの皆様方と出会い、そして様々な現状と、課題を教えて頂く中で、この小さな声を届けなくてはとの熱い思いが、こみ上げて参ります。

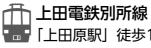


その皆様の声が私の活動のエネルギーです。実現には、時間がかかることも多くありますが、粘り強く挑戦してまいります。

今後とも、力強いご支援をよろしくお願いいたします。

連絡先

事務所を下記に開設させていただいております。お気軽に お立ち寄りいただき活用して頂ければ幸いです。





🖳 お車で

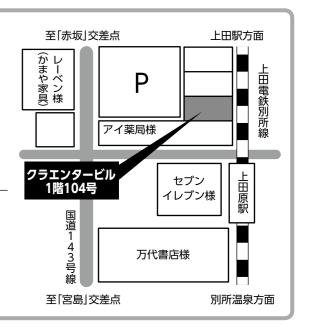
「宮島交差点」より5分 「赤坂交差点」より3分

所在地 ▶ 〒386-1102 上田市上田原707-3 クラエンタービル104号

▶0268-75-7279

F A X ▶0268-75-7706

e-mail ▶shimizu.jyunko@orange.plala.or.jp



県議会報告

新人として、全てが初めての中、ひとつひとつ周りの皆様に守り育てて頂きながら、 2回目の9月定例議会を終えました。

今回は障がい者の教育、就労、生活支援についての質問をさせていただき、たくさんの皆様方の声を伺いました。支援学校、支援学級へ通う子ども達のお母さん方からは、「わが子たちは、ひとつひとつ、一人一人、丁寧な教育を受けることによって、皆さんが思っている以上の力を発揮することができるのです」との言葉が心に響きました。

障がいを持つ方々の視点に立って、県政が行われてゆく時、障がいのない人々にとって も暮らしやすい、優しい長野県づくりができるはずです。

すべての子どもたちが、まっすぐに成長できる環境づくり、そして地域の中で共に、自 分らしく生活できる社会づくりに、皆さまと共に力を尽くしてまいります。

なお、一般質問の一部をご報告させて頂きます。詳しい内容は長野県ホームページにて 掲載させて頂いております。

障がい者の教育、就労、生活支援について

質問1 特別支援学級・特別支援学校について特別支援学級担任の専門性について

回 答 【教育長】 長野県は特別支援学級に通う児童は全国 に比べ大きく上回っている。

特別支援学級担任の免許保有率も全国平均を上回る状況にある 教育委員会では、毎年、教育職員免許法認定講習を行い,特別支 援学校教諭免許状の取得の促進を図っている。

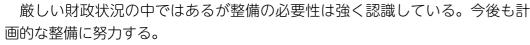
特別支援学級を担任する教員に対しては「特別支援学級・通教 指導教室新任担当教員研修会」を実施して専門性を図っている。

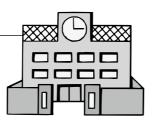


9月県議会一般質問

質問2 特別支援学校(養護学校)の施設整備について

回答【教育長】 今定例会に特別支援学校16校の施設改修経費を補正予算に計上した。





質問3 「長野県工賃倍増5カ年計画」最終年での現在の成果と結果の見込みは? その後の障がい者が自立していくための県としての生活支援は?

回答【健康福祉部長】 平成22年度の就労施設の平均工賃月額は12,290円である。目標額である22,000円の平成23年度内の達成は難しい状況であり、地域で生活する上ではまだまだ十分ではないと認識している。

これまでの事業効果を検証するとともに、24年度以降についても、今年度策定する新たな障がい者プランにおいて自立生活への支援を総合的に検討し、引き続ききめ細かな支援を行なっていく。

主な活動日程

9月

- 1日(木)上田合同庁舎現地調査 (危機管理建設委員会) 同席
- 2日(金) 東部湯の丸インター関連道路 期成同盟会
- 5日(月)事業仕分け 傍聴
- 7日(水)長野県社会福祉大会
- 12日(月) 県民クラブ・公明会派視察
- ~14日(水)(内容:北海道エネルギー政策 稚内メガソーラー・風力・雪冷房 システム・北海道経済産業局)
 - 19日(月) 上田真田まつり
 - 20日(火)新生会(県議1期生会)

(内容:阿部知事との意見交換会)

- 21日(水)9月定例県議会 開会
- ~10月7日(金)
- 28 (水) 一般質問



写真:上田真田まつり 9月19日



『真:阿部知事との意見交換会 9月20日



写真: 稚内視察 (メガソーラー 9月13日)



写真:「発達障がいを学ぼう」セミナー

1日(土)青木村立青木小学校運動会

2日(日) うつ病セミナー (講師:中村博保理事)

- 3日(月)長野県弁護士会と新生会との意見交換会
- 6日(木) 鹿教湯病院・鹿教湯三才山 リハビリテーションセンター 視察
- 7日(金)9月定例県議会 閉会
- 8日(土) 上田市医療再生委員会との意見交換会
- 9日(日) 青木村民運動会
- 13日(木)「女性の視点からの災害対策」講演参加 (講師:清原桂子兵庫県理事)
- 14日(金)上田市社会福祉大会
- 25日(火)決算特別委員会 現地調査
- ~26日(水)(場所:松本・木曽合同庁舎)
 - 28日(金)「発達障がいを学ぼう」
 - (主催:輝く未来を創る女性の会)
 - 30日(土) 「第8回わくわくファミリーフェスタ」